

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：R4年 2月 17日

事業所名：妙法寺音楽堂児童デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動に応じたスペースは確保できています。	見学時とは人数も変わっていると思うので今わからない はい…3 どちらともいえない…2 いいえ…0 わからない…2	整理整頓を心がけて安全に療育ができる空間を確保します。
	2 職員の適切な配置	基準を満たす人員配置はできています。	はい…2 どちらともいえない…2 いいえ…0 わからない…3	個別に対応が必要な場合は増員しています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	トイレ、洗面所は分かりやすく配置しています。車椅子使用の児童もいますがトイレ誘導は現状、ありません。	はい…4 どちらともいえない…0 いいえ…0 わからない…2	現状のまま対応します。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃は勿論のこと、消毒、換気は定期的に行っています。	はい…4 どちらともいえない…0 いいえ…0 わからない…3	安全面も留意しながら、換気も行っています。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的なミーティングを開催して業務の振り返りを行っています。		ミーティングで話し合われた内容を全職員にフィードバックして参ります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	近隣の他事業所の方と連携を取りながら意見を頂くこともあります。		外部評価の活用も検討致します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修への積極的な参加を促しています。		法人内では、職員の個性に合わせた研修も企画しています。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	児童、保護者のニーズ、課題をできるだけくみ上げて計画書を作成します。		具体的な計画策定を心がけます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	音楽、制作、療育の各視点でプログラムを作成しています。	はい…7 どちらともいえない…2 いいえ…0 わからない…0	実施されるプログラムにより個別・集団活動への参加を促すような支援計画を作成します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	当事業所では、音楽による集団、個別の支援を取り入れています。		目標を音楽、療育、工作に焦点を当てて支援計画を作成していきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	なるべく、支援計画に沿った療育行っています。	はい・・・8 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・0 わからない・・・1	具体的な目標設定を行い、支援を行って行きます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	ミーティングでクッキングメニューや音楽メニューを話し合っています。		保護者、児童からの要望も取り入れながら活動プログラムを考えていきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	できるだけ、個人、集団のプログラムを導入しています。	はい・・・6 どちらともいえない・・・3 いいえ・・・0 わからない・・・0	療育の時間で、個別、集団のプログラムを実施していきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	時間的に余裕がある場合、個人プログラムの工作を行い、音楽でも個人のパートを設けて演奏してもらっています。		マンネリ化しないようにプログラムを検討していきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日のミーティングで担当児童、療育内容の確認を行っています。		引き続き、児童来所前に役割分担を確認していきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎後に職員間で話し合いを行っています。		今後も、職員間の情報共有は行って行きます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	グループLINE等で情報の共有を行っています。	ケース記録は、事業所の区別無く職員が全て閲覧できて共有できていますので継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングで職員間で話し合いを行って計画に反映しています。	今後も話し合いは継続していきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業所からの要請があれば、積極的に参加しています。	積極的に参画していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児童がいません。	該当児童がいません。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児童がいません。	該当児童がいません。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	他事業所への話し合い、情報共有は綿密に行って児童のスムーズな移行支援に努めています。	今後も、職員間の情報共有は行っていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	担当者会議等をはじめ、綿密な情報共有を行っています。	他の障害福祉サービスへ出向いての会議への参画等行っていきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	連携は行っています。研修等も積極的に参加しています。	今後も継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナ禍で企画していません。		安全に外部との交流ができれば是非行いたいと思います。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍で企画していません。	コロナ禍であるので今は無理だと思う はい…0 どちらともいえない…1 いいえ…2 わからない…6	安全に外部との交流ができれば是非行いたいと思います。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学时、契約時に書面、口頭で確認しています。	はい…6 どちらともいえない…3 いいえ…0 わからない…0	今後も継続していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6ヶ月に1度行っています。	はい…5 どちらともいえない…4 いいえ…0 わからない…0	対面では厳しくなっていて、文章、SNS等でやりとりすることが多くなっています。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施していません。	はい…1 どちらともいえない…0 いいえ…3 わからない…5	職員の知識向上から行って行きます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡ノートでのやりとりの他、難しいのなら直接電話でのやりとりも行っています。	はい…6 どちらともいえない…3 いいえ…0 わからない…0	保護者との情報共有は重要であるため今後も実施していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて面談、電話での相談を受けています。	はい…6 どちらともいえない…3 いいえ…0 わからない…0	保護者との情報共有は重要であるため今後も実施していきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会は行っていません。	コロナ禍であるので今は無理だと思う はい…0 どちらともいえない…1 いいえ…2 わからない…6	機会があれば実施したいと思います。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約書に苦情窓口を明記していつでも受ける体制は整えています。苦情が生じた際は迅速に対応するよう心がけています。	はい…6 どちらともいえない…2 いいえ…0 わからない…1	苦情が生じた場合は迅速、誠実に対応します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々にあったコミュニケーションを図り可能な限りの意思疎通を図っています。	はい・・・7 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・0 わからない・・・1	意思疎通が困難な場合は視覚支援などで実施致します。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	書面で配布、ホームページでの行事予定の更新を行っています。	はい・・・5 どちらともいえない・・・3 いいえ・・・1 わからない・・・2	個々の児童の様子を個人LINEへ送ることもありますが事業所全体での案内を今後は検討していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人上の管理は厳重に行っています。	はい・・・7 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・0 わからない・・・1	SNSでの情報のやりとりの際に漏洩等発生しないように職員へは操作方法のレクチャーも継続していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成して緊急時に備えています。	はい・・・1 どちらともいえない・・・2 いいえ・・・3 わからない・・・3	防犯マニュアルは再検討して作成します。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回の避難訓練を行っています。	はい・・・1 どちらともいえない・・・1 いいえ・・・1 わからない・・・6	避難訓練でも災害別で避難経路も変わるので全行程は困難ではありますがある程度までは行い、児童、職員に周知していただきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に1回以上の虐待防止研修を行っています。		研修参加の方法をzoomを駆使しての実施で参加に不便がないように工夫しながら全職員への啓発を行って行きます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当事案がありません。		該当事案がありません。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	面談時にアレルギーの有無等確認して個人ファイルに記載して職員間で情報共有しています。		食物アレルギーの児童案件がありましたら適切な取組を話し合っていきます。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事案は当日中に作成して翌日には全事業所での確認を行っています。		今後も大きな事故に繋がらないようにヒヤリハット事案の共有を行って行きます。